

# たんぽぽ苑通信

2004 9月17日

第32号

■発行 社会福祉法人神東会

TEL (0578)2-6500 FAX (0578)2-6531

岐阜県飛騨市神岡町東町 690 番地 1 E-mail welfare@tanpopoen.jp



アテネオリピックでは連日の日本の活躍でテレビ観戦の我々もつい力が入って全力を尽した選手の泣き笑いに心がゆさぶられ多くの興奮と感動を受けました。それは谷亮子選手が怪我を抱えての優勝に、重責を果たしてほつとしての感涙と応援団に代えて出場する中で、夫（日本代表野球選手）の「足は大丈夫」とねぎらうホットなシーンから始まった。

優勝者の一言は、「チヨイ気持ちがいい」「最高です」「チヨイ嬉しい」など自分の気持ちを素直に爽やかに表現している。言葉の結びに「今まで支えてくれた人に感謝し、大きな声援に勇気づけられ喜ぶ皆さんの笑顔に励まされて嬉しい、ありがとございました」など謙虚さが良い。オリンピックは勝負であり、達成感と歓喜する者、挫折感や再起を志す者と様々なドラマのように展開する。ドキドキハラハラして楽しんだオリンピックも成功裡に終わり、今年の猛暑と寝不足でばて気味の私にとっては満足感でほつとしている。

私は職場で最も気に成るのは朝礼時の入所者等の申し送り報告である。体調を壊した方や大きな事故に至らなかった時はほつとする。

介護には個別ケアプランに基づいて対応しているが時には思いもよらない行動によって転倒され、大腿骨骨折など事故が原因で寝たきりの状態に成っては大変である。

「健康は命より大事だ」とちよつと変な言葉を聞くことがあるが不注意によって寝たきりの状態でただ長生きするだけでは喜ばしい訳ではない。もしかするとこの言葉は当たっているかと思える。何れにしろ安全・安心な介護が大事である。



今年も非常に天候に恵まれとても暑い日となりましたが、来苑者数は地域の方々が約200人、入居者・利用者やその家族、ボランティアと職員を合わせると400人強の参加となり大変盛り上がりしました。  
ボランティアの方々には今年もバザーや盆踊り、入居者の誘導などお手伝い頂きまして、本当にありがとうございました。



# ボランティア活動報告



6/18 日赤奉仕団寺林分団 様  
: 草取り・花苗植え作業



6/18  
北陸電力神岡営業所 様 : 花苗植え作業

6/26 高山高校 様 : ガラス拭き作業



6/21  
飛騨神岡高校茶道部 様 : お茶会



8/1 飛騨市職員組合病院部様  
納涼祭時入居者誘導手伝い

## 飛騨地域リハビリテーション広域支援体制整備推進事業

### コミュニケーション障害への援助



平成 16 年 8 月 27 日 (金)  
第 2 回目として高山市の久美愛病院 言語聴覚士 田宮先生に来て頂き、資料、ビデオなどで講習を行って頂きました。

### 拘縮予防・筋力強化



平成 16 年 7 月 21 日 (水)  
第 1 回目として高山市の久美愛病院 理学療法士 黒木先生に来て頂き、実技を交えながら講習を行って頂きました。

# JC 介護講座



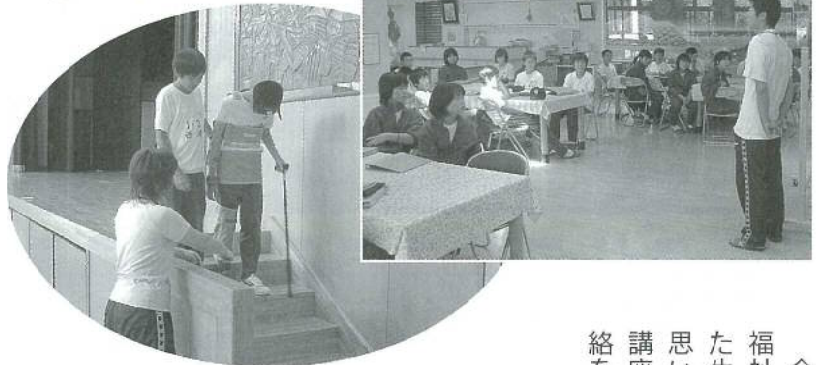

## 在宅サービスからお知らせ



神岡青年会議所から高齢化社会への対応として老人介護の基礎知識を学ぶ事を目的として介護講座の依頼がありました。普段簡単にこなしている動作なのに身体のどこかに不自由がある事で時間がかかったり、他の人の援助を受けないとできない事を体験してもらいました。これをきっかけとして若い方にも老人福祉について身近に感じて頂けたら良いと思います。

## 神岡中学校 1年生 シニア体験

今年も神岡中学校1年生の八四人が参加して、シニア体験・車イス操行の体験介護講座を七月二日(金)に行いました。その他には視力障害を体験してもらったため、視力制限ゴーグルを着用して箸で豆をつまむのが如何に大変かを体験しました。これを機に、高齢者への理解が高まったのであれば幸いです。



今回は事前にたんぼぼ苑の施設見学と、神岡町の高齢者福祉の現状・高齢者の特徴などの説明会も行い、参加された生徒の皆さんの福祉への関心も高まったのではないかと思います。たんぼぼ苑では常時、個人・団体を問わず介護講座の受け付けを行っておりますので、希望される方は連絡を頂きたいと思っております。

### 介護映画「折り梅」のビデオを鑑賞しませんか。



去る7月27日、介護予防事業としてNPO法人「まめなかな」主催で映画「折り梅」を上映しました。ご協力有難うございました。多数の方に鑑賞頂き、参加者の皆様からは大変好評を頂きました。当日ご都合で上映会に参加できなかった方にも是非見て頂ければと、ビデオをお借りしています。ご希望があれば貸出しが出来ますので在宅介護支援センター(和田、古田)にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先 : 0578-2-6541

※10人程度のグループであれば、たんぼぼ苑で大スクリーンを利用した鑑賞も可能です。

- 内容 -

記憶を失う病気(痴呆症)に脅える姑と、その姑を本当に受け止める事ができない嫁が別れ(施設入所)を決意するきっかけに結ばれていく1年を描く→介護をつづった手記「忘れてもしあわせ」が映画となった。



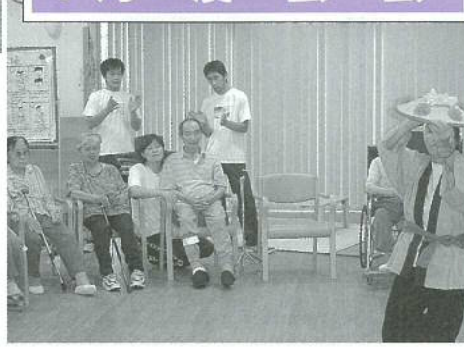
こんにちは！

# 旭ヶ丘デイサービスです！



旭ヶ丘デイサービスセンターでは、地域交流を兼ねて毎月、講和会や演芸会等の行事を行っています。  
去る七月十三日、流葉老人クラブから田中せつ子さんに来苑して頂き、民謡に合わせた踊りを披露して下さいました。又、利用者の皆さんも一緒に楽しんで下さいます。考えて下さり、利用者の皆さんも積極的にゲームに参加して頂く事ができ、とても楽しく有意義な時間を過ごす事が出来ました。

## 7月：演芸会



## 8月：納涼祭

去る8月17日(火)から23日(月)にかけて納涼祭を行いました。ご家族の皆さんも交えて「ゼリーすくい」「占いゲーム」「ゲートくぐり」などで楽しんで頂いた後、民謡保存会の方による「盆踊り」を行いました。

盆踊りでは車イスの方でも手だけ動かしたり、踊れなくても輪の中に入ったりとみんなそれぞれ違いはあっても雰囲気を楽しむ満喫して頂けたと思います。



8月19日、20日の両日には旭ヶ丘保育園からも子どもたちが参加してくれ、かわいい歌や遊戯を披露してくれました。

盆踊りの後にはボランティアの方々に作って頂いた「やきそば」「ソーメン」をみんなでおいしく頂きました。

こうして無事に終わることが出来たのもご家族の方々、ボランティアとして参加して頂いた方々、民謡保存会の皆さん、旭ヶ丘保育園の園児、先生方に手伝って頂いたおかげだと思っています。書面をお借りして御礼申し上げます。



「たんぼぼ苑」運営基金・物品篤志寄付

平成十六年六月二日から平成十六年九月一日までに次の方々より、たんぼぼ苑へ多額のご寄付を頂きました。

寄付金はたんぼぼ苑の大切な財産として、又、物品は入居者の方々に有効に使用させて頂きます。心からお礼申し上げます。  
(敬称略)

篤志寄付

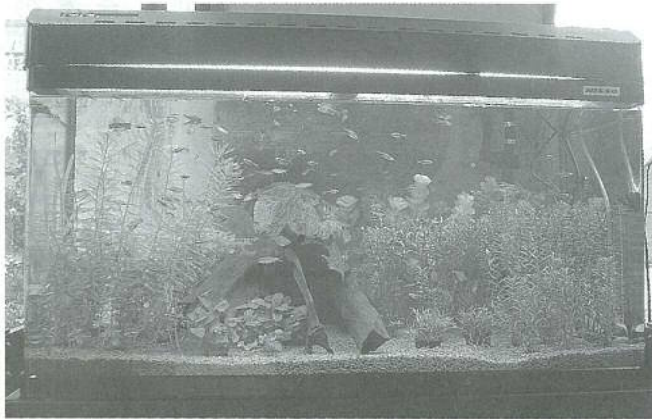
合計七三五、〇〇〇円

- ▽田口 哲朗 (旭川)
- ▽白木 志津枝 (旭川)
- ▽福森 米三 (坂富)
- ▽澤田 宣夫 (西里)
- ▽水本 清子 (城西)
- ▽村瀬 仙一郎 (西里)
- ▽布山 小夜子 (朝日町)
- ▽久保 弘子 (豊山町)
- ▽香川 光江 (二ツ屋)
- ▽黒澤 平一郎 (長野県)
- ▽藤木 忠人 (山田)
- ▽荒城 正行 (伊西)
- ▽森田 のぶ (朝浦)
- ▽平川 富夫 (西里)
- ▽井上 久光 (江馬町)
- ▽藤田 チカ (弥生町)
- ▽米澤 芳枝 (寺林)
- ▽川原 はな (白山)
- ▽中澤 きよ子 (大島)

- ▽栃本 保子 (高山市)
- ▽大坪 静江 (上今)
- ▽沢 万寿雄 (打保)
- ▽登林 二郎 (下今)
- ▽堀田 明 (坂富)
- ▽村瀬 仙一郎 (西里)

- ▽南本 フサ (漆山)
- ▽宮本 恭子 (堀之内)
- ▽森田 平一郎 (寺林)
- ▽黒澤 眞里子 (長野県)
- ▽正村 慶昭 (寺林)
- ▽谷口 昭三 (坂富)
- ▽梶田 幹昭 (下山田)
- ▽飛騨神岡高校美術部
- ▽澤田 暁子 (西里)
- ▽神子 鈴子 (殿サンアルプ)
- ▽山越 きの (殿)
- ▽桐田 貞二 (和泉町)

たんぼぼ苑のアクアゾーン!



たんぼぼ苑内で癒しを与えてくれる水槽!!  
キレイな熱帯魚が泳ぐ姿を見ると心がとても癒されます。職員自ら、魚を選んで水槽内のレイアウトも考えた力作です。  
是非、たんぼぼ苑に寄られたらご覧下さい。(^^3^^)

栄養士の『旬を食べよう』のコーナー

「十五夜」の月を別名『中秋の名月』と言われます。その他にも「芋名月」とも呼ばれ、昔は多くの地方で人の畑に植わっている「芋」(里芋を意味しています。ちなみに、「里芋」は「ヌルヌル」としたぬめりがありますが、そのぬめりは「胃」や「胃壁」を胃酸から守る働きがあります。)を勝手に取って食べても良いという風習があったそうです。

ただし、幾らでも取って良いというわけではなく「道から片足を踏み込んだ所までとする」というお約束でした。これが「片足御免」という風習です。十五夜はちょっとした無礼講の日でもあったようですね。

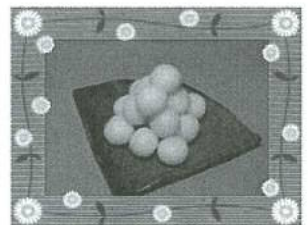


でも、今は十五夜だからといって、畑から芋を取って「片足御免」ではすみませんのでご注意ください。

『十五夜』にかざるお月見団子を作ってみませんか?

◆材料◆

- 1. 米の粉……………200g
- 1. 砂糖…………… 30g
- 1. 水……………160cc



◆作り方◆

- 1 米の粉と砂糖を混ぜ、水を入れよく捏ねる。
  - 2 蒸し器にて30分蒸す。
  - 3 濡れ布巾で覆いよく捏ねる。
  - 4 20g程度に丸めて盛り付ける。
- 『十五夜』ということで、15ヶかざる地方もあるそうです。

